

## 小学校国語 全体考察

### 小学校国語A(主として「知識」に関する問題)

#### 「話すこと・聞くこと」について

- ◇ スピーチを読み、段落の内容を短いキーワードに要約したカードをスピーチに沿って並べ替える問題は、多くの児童が正答しています。また、「小学生の運動について」調べて分かったことを発表する問題では、どのような点を工夫して発表しやすく書き換えたかを、多くの児童がとらえています。

#### 「書くこと」について

- ◇ 紹介文を読み取る問題では、紹介する内容を的確に要約して、小見出しに表現することができます。
- ◆ 「言葉づかいについて困っていること」を調査したグラフから読み取る問題では、求められた条件に沿って、グラフから分かったことを文章にまとめることに課題があります。国語の授業でも、文章に表されたものだけでなく図表やグラフなどを教材として取り上げていくことが大切だと思われれます。

#### 「読むこと」について

- ◆ 文学的文章の段落の内容をとらえる問題では、語句や文に着目し筆者が伝えたかったことを、読み取ることに課題があります。文章全体の構成をつかみ、筆者の考えの中心となる文をとらえる学習を、継続して行っていきたいものです。

#### 「言語事項」について

- ◇ 漢字の読み書きについてはおおむね満足できる状態です。毎日の漢字練習やドリル学習の継続などに力を入れてきた成果であると考えられます。
- ◆ 文脈に沿って読み、前後の語句や文のつながりを押さえた上で、正しい漢字を選択したり書いたりする、同音異義語の理解については課題があります。漢字一つ一つの意味を、文脈に沿って理解させるような学習を行っていきたいものです。

### 小学校国語B(主として「活用」に関する問題)

- ◇ 「聞き方を工夫する」問題については、おおむね満足できる状態です。国語科の学習だけでなく、各教科、総合的な学習の時間、特別活動などでの児童の学習の経験が、生かされている結果であると考えられます。
- ◇ 「人物や場面の描写をとらえる」問題の中の、二つの物語文の冒頭部分における登場人物の特徴をとらえる設問については、おおむね満足できる状態です。
- ◆ 「情報を読み取って書く」問題については正答率が低く、課題がみられます。様々な文章と図表やグラフなどを関連づけて読むことは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても求められます。文章や資料を複数関連させて読む学習を、今まで以上に取り入れていく必要があります。
- ◆ 「二つの意見文の組み立ての違いをとらえる」問題については課題がみられます。常に組み立てを考えながら作文をすること、読み手を引きつけるような書き出しや結びの表現を工夫する学習を、計画的に取り入れていきたいと思います。

# 小学校国語問題ごとの考察

## 1 調査問題（漢字の読み書きや使い分けの問題）

- A ① 一 次の(1)から(3)の文の —— 部の漢字をひらがなに直して書きましょう。
- (1) 自然を 保護 する。 (2) 全員がすぐに 承知 した。
- (3) 水が 勢いよく 流れる。
- 二 次の(1)から(3)の文の —— 部のひらがなを漢字に直してていねいに書きましょう。
- (1) ボールを な げる。 (2) かぜを よぼう する。
- (3) 駅まで歩いて おうふく する。

A ② 漢字の使い分け（同音異義語）

【ポスターの下書き】

### ☆劇の発表会のお知らせ☆

つゆくさ小学校 6年1組一同

わたしたち6年1組では、劇の発表をすることになりました。

（発表する作品） 『海と鳥』（谷口 進 作）

1 発表の日：平成20年6月4日（水）

2 時 間：午後2時から午後3時まで（かいじょうは、30分前）  
①

3 場 所：つゆくさ小学校体育館

【辞書での「かいじょう」の説明】

ア【 】 会議や集まりなどが行われる場所。

イ【海上】 海の上。海面。

ウ【 】 集会や行事などをする場所を開いて人を入れること。

エ【階上】 二階以上の建物の上の階。

(1) アとウの【 】に当てはまる漢字をていねいに書きましょう。

(2) —— 部「かいじょう」を漢字に直すと、アからエまでのどの漢字になりますか。正しいものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

## 2 学習・指導の状況

- (1) 漢字の読みは昨年同様、おおむね満足できる状態にあります。
- (2) 漢字を書く問題は読む問題に比べて正答率はやや下がりますが、全体的にはおおむね満足できる状態です。
- (3) 質問紙調査「新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしていますか」について、8割程度の児童が「使おうとしている」「どちらかと言えば使おうとしている」と答えています。そのような姿勢が、漢字を身に付けることにつながっていると考えられます。
- (4) 漢字を書く問題の「往復」は正答率もおおむね満足できる状態であり、全国の正答率に比べても、かなり上回っている状態です。
- (5) 同音異義語の「開場」を書く問題は、正答率がかなり低い状態です。「場」は書けていますが「開」が書けていない児童と無解答が多く見られました。「開場」という言葉が子どもたちの生活の中で、あまり使われないことや漢字一つ一つの意味を確実にとらえていないことに原因があるように思われます。

## 3 指導改善に向けて

- (1) 学習した漢字が日常生活の中でどのように使われているか調べさせるなど、子どもたちの興味や関心を高めながら語彙力を養うことが大切であると思われれます。一方、子どもたちが生活の中では目にすることが少ない語彙も獲得できるよう、様々な資料や文章に触れる機会を多くしていきたい

ものです。

(2) 同音異義語の使い分けについては、漢字一つ一つの意味を理解した上で、文脈に沿って熟語の意味をとらえられるような学習が必要になってきます。また、辞書を使い言葉を調べる習慣を身に付けていくことも、言葉や漢字に対する関心を高め、定着することに役立つと考えられます。

### 1 調査問題（文章を推敲する問題）

#### 2 学習・指導の状況

(1) ③の文は接続助詞「ので」が2回使われ、長文になってしまっています。一文を分割することで理解しやすくなることに気づかせたい問題ですが、課題となりました。

(2) この問題では、4を選んだ児童が半数以上見られます。ふだん長文で述べることに慣れてしまっていること、また、「です」「ます」の敬体を使う方が、ていねいな表現であると思っていること、などが原因として考えられます。

#### 3 指導改善に向けて

(1) 文章表現をよりよくするために、作文の下書きを声に出して読み返したり、文の組み立てを読み手にわかりやすくしたりする学習を、さらに充実させる必要があります。

### A ③ 【文章を推敲する問題】

【書き直したほうがよいと思ったところ】

① わたしは、六年生として学校のためになるような仕事や活動に積極的に取り組もうと思った。② しかし、具体的にどんなことをしたらよいのかなやんでしまった。③ そこで、先生に相談すると、「あなたの好きなことが、学校のためにつながるとよいですね。」と、話してくださったので、花が好きなどころを生かせばよいと気づいたので、花いっぱいの子供らしい学校にしようと思った。

- 1 ②の文には、「だれが」という主語がぬけているから、主語となる「先生」を書き足したほうがよい。  
2 ③の文は、「ので」が続いて長くなり、分かりにくいから、一文を分けて書いたほうがよい。  
3 ③の文の「」の部分は、先生が話した言葉だから、〈話してくださった〉まで「」に入れたほうがよい。  
4 ①から③までの文は、述語が「した」になっているから、「です」や「ます」も使ったほうがよい。

### 1 調査問題（スピーチの組み立てをとらえる問題）

A ⑤ 小野さんが実際に話した内容に合わせて、4枚のカードを順番に並びかえ、その記号を書きましょう。

#### 【用意したカード】

エ	ウ	イ	ア
服そうや準備	登山の楽しさ	登山前の体力づくり	質問を受ける

#### 【小野さんが実際に話した内容】

さわやかな五月、山に登ると風がとても気持ちよかったです。歩いていると、美しい花やめずらしいチョウに出会い、みんな喜んでいました。山のちよう上まで登り着いたあとに食べたお弁当は、とてもおいしかったです。

わたしたちは、登山に向けて、一か月前から毎日運動場を走りまわりました。みなさんも、取り組んでみれば、どうでしょうか。

登山のときは、虫にさされたり、木の枝だけがをしたりしないように、長そでの服と長ズボンで参加するとよいと思います。ぼうしやタオルもわすれないください。みなさん、分からないことがあれば、何でも聞いてください。

## 2 学習・指導の状況

- (1) 正答は、ウ→イ→エ→アとなります。【用意したカード】は、それぞれの段落の内容を要約し、短いキーワードに置き換えたものです。これをすべて適合させることが重要です。この問題では、話し手の意図や効果的な組み立ての工夫をとらえることが理解できており、満足できる状態にあります。

## 3 指導改善に向けて

- (1) 特に話す能力を育成するため、スピーチをするときは、伝えなければならないことを整理すること、聞き手の立場に立って分かりやすい順序で話すことなどに重点を置いた指導が大切となります。

## 1 調査問題（人物や場面の描写をとらえる問題）

B ② 「わるいことに」には、おかあさんグマのどのような気持ちが表れていると考えられますか。次のメモをもとにし、あとの条件に合わせて書きましょう。

【メモの一部】

◆一ぴきや二ひきではない犬のにおいがしてきた。

◆イタドリの芽がつくつくとでている。

◆イタドリの芽は、クマのごちそうである。

わるいことに

おかあさん  
グマの気持ち

＜条件＞ ○「犬」と「イタドリの芽」の二つの言葉を入れて書くこと  
○四十字以上八十字以内にまとめて書くこと

## 2 学習・指導の状況

【正答例】 犬が近づいて来て早くにげなければならないのに、子グマの好きなイタドリの芽が目の前にあることが分かり、それを食べようとしてにげおくらせてしまうことを心配している。

- (1) 正答例に対し、答えに入れるべき、おかあさんグマの心配する気持ちと二つの条件を満たしていない回答や、他の問題に比べて無解答が多くみられました。比較的長い物語を短時間で読み取ることや、与えられた多くの条件に沿って、まとまった文章に表すことに抵抗があったと考えられます。
- (2) 質問紙調査「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいますか」では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」が4分の3を占めています。しかし、設定された条件に合わせて書く今回の出題は、これまでの国語の学習であまり取り上げてこなかった内容です。こうしたまとめ方をする学習経験の少なさが、この結果に表れたと考えられます。

## 3 指導改善に向けて

- (1) 今後、文章の内容をまとめる際、指定された語句を入れ、条件に沿って書き表すような学習を取り入れていく必要があります。
- (2) 物語を読むときは、登場人物の特徴や人物相互の関係などをとらえ、場面の展開に関わる言動を押さえながら、物語全体を把握するなどの学習を進めていくことが大切であると考えられます。